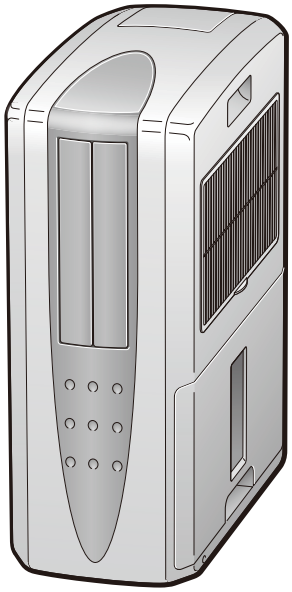
CORONA

コロナ冷風・衣類乾燥除湿機

（保証書付）
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。

取扱説明書

シー ディー エム エフ
CDM-F1023



このたびは、コロナ冷風・衣類乾燥除湿機をお買いあげいただきましてありがとうございました。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくご使用ください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed and manufactured for use only in Japan. In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.

もくじ

ページ

ご使用の前に

安全上のご注意 …… 1〜2
知っておいていただきたいこと …… 3
各部のなまえとはたらき …… 4
運転前の準備 …… 5
運転の種類 …… 5

使いかた

運転のしかた …… 6
切タイマー運転 …… 7
内部乾燥運転 …… 7
吹出方向の切りかえ …… 7〜8
排熱ダクトの使いかた …… 9
別売品ダクトパネルについて …… 9
満水のお知らせとタンクの水のすてかた …… 10
連続排水 …… 11
キャスター移動 …… 11

必要なときに

お手入れのしかた …… 12
別売品フィルターについて …… 12
故障かな？と思ったら …… 13
保証とアフターサービス …… 13
お客様ご相談窓口 …… 14
保証書 ……裏表紙

仕様

型式		CDM-F1023	
電源		交流 100V	
電源周波数		50Hzの場合	60Hzの場合
定格除湿能力		9.0L／日	10.0L／日
消費電力（衣類乾燥運転時）		185W	200W
除湿可能面積の目安	木造	19m²（11畳）	21m²（13畳）
	プレハブ	29m²（17畳）	32m²（19畳）
	鉄筋	38m²（23畳）	42m²（25畳）
排水タンク容量		約5.8Lで自動停止	
質量（kg）		約13.0	
外形寸法（高さ×幅×奥行）（mm）		600×250×386	
付属品		排熱ダクト、ダクトアダプター、除菌・脱臭シート（2枚）	

■この製品は電源周波数50Hz、60Hzで仕様が異なります。
■定格除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転したときの1日あたりの除湿量です。（衣類乾燥運転時）
■除湿可能面積の目安は、日本電機工業会規格（JEM規格）に基づいた数値です。
■待機電力は約0.5Wです。
■製品は改良のため仕様の一部がかわることがあります。
■長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

株式会社コロナ

安全上のご注意(必ずお守りください)

●ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

○表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
⚠警告	〝取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること〟を示します。
⚠注意	〝取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること〟を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

○図記号の説明

図記号	図　記　号　の　意　味
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	指示する行為の強制（必ず守ること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全に使っていただくために

⚠警告

交流100V以外で使わない
定格以外の電圧で使用すると感電や火災の原因になります。

禁止

発熱器具の近くに置かない
樹脂部分が溶けて引火する原因になります。

火気禁止

長時間冷風を身体に直接あてたり、冷し過ぎない
体調悪化・健康障害の原因になります。

禁止

スプレーなどの缶を除湿機の近くに置かない
爆発や火災の原因になります。

禁止

ぬれた手でボタンやルーバーなどの操作をしない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

運転中に、電源プラグを抜いて停止しない
感電や火災の原因になります。

禁止

電源コードの途中での接続、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしない
感電や発熱・火災の原因になります。

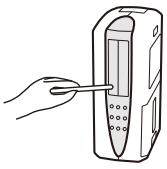
禁止

電源コードは折ったり、束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない
電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根もとまで確実に差しこむ
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

必ず守る

吹出口・吸込口・排熱口に指や棒などを入れない、スイングしているルーバーにさわらない
内部でファンが高速回転しており、けがや故障の原因になります。
スイングルーバーに手をはさむと、けがの原因になります。


禁止

電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
電源プラグや電源コードが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電や発火の原因になります。
コンセントの差し込みがゆるいときは、電気工事店に修理を依頼してください。コンセントを交換しても異常に発熱するときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

禁止

⚠注意

移動するときは必ず運転を停止し、排水タンクの水をすて器具を傾けない
水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

禁止

お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
内部でファンが高速回転しておりますので、けがの原因になることがあります。

プラグを抜く

除湿機を直接水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない
除湿機内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。


禁止

除湿機からの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない
燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

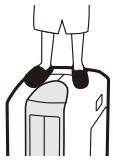

禁止

安全に使っていただくために

⚠注意

除湿機の上にのったり、腰掛けたりしない

落下・転倒などによりけがの原因になることがあります。



禁止

同じ場所で長時間ご使用の場合は、除湿機下部や床の周辺・壁などの汚れに注意する

排熱口の風があたる壁などに、汚れた跡が残る場合があります。同じ場所で長時間ご使用の場合は、壁や床など早めの清掃をしてください。

必ず守る

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、ボタンやルーバーを操作しない

感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

吹出口・吸込口・排熱口をふさがない

風通しが悪くなり発熱・発火の原因になることがあります。



禁止

除湿機内部の熱交換器のアルミフィンにさわらない

けがの原因になることがあります。

接触禁止

長期間使用しない場合は安全のため電源プラグをコンセントから抜く

感電や漏電火災の原因になることがあります。

プラグを抜く

除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない

健康を害する原因になることがあります。

禁止

フロートの中に水や物を入れて運転しない

排水タンクが満水になっても運転が停止せず、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

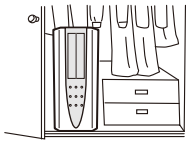
必ず守る

設置について

⚠注意

押し入れ・家具のすきまなど狭い場所で使用しない

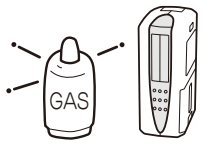
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。



禁止

油・可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一もれて除湿機の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。



禁止

屋内専用なので直射日光のあたる場所・雨風のあたる場所で使用しない

過熱や感電・漏電火災の原因になることがあります。

禁止

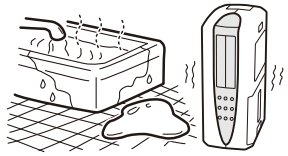
薬品を扱う場所で使用しない（病院、工場、実験室、美容院、その他）

空気中に溶けた薬品や洗剤により除湿機が劣化し、ひび割れや水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

禁止

水のかかりやすい場所で使用しない

感電や漏電火災の原因になることがあります。



禁止

水蒸気の充満する所や水気の多い場所など、設置場所によってはアースが必要

不完全な場合は、感電の原因になることがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。

アース線接続

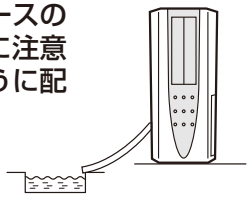
排水ホースを使用する場合は、ホースの周囲が氷点下にならないようにする

ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内にもれて家財などをぬらす原因になることがあります。

必ず守る

連続排水する場合はホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するように配管する

水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。



必ず守る

美術品や学術資料などの保存など、特殊用途には使用しない

保存品の品質低下などの原因になることがあります。

禁止

水平で丈夫な場所で使用する

ご使用中に除湿機が傾くと水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

必ず守る

修理について

⚠警告

異常時・故障時には、ただちに使用を中止する

・運転／停止ボタンを押しても運転しないとき
・電源プラグや電源コードなどが異常に熱いとき
・こげくさい臭いがしたり、異常な音がするとき
・電源コードに触れると通電しなかったりするとき
・ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき
・その他の異常や故障があるとき

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。
運転を停止して電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

必ず守る

分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

分解禁止

知っておいていただきたいこと

■運転中は室温が上昇します。

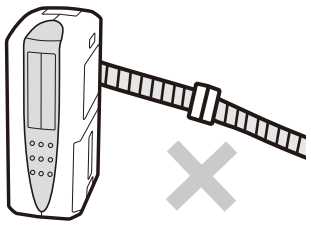
- ■冷風は出ますが、エアコンと違い部屋全体を冷房することはできません。閉めきった部屋で運転すると、排熱により室温が上昇します。
- ■付属の排熱ダクトを使用することにより、室温の上昇をおさえることができます。（☞ 9ページ）

■運転可能な部屋の温度について

- ■運転可能な部屋の温度は約5℃～約35℃です。
- ■部屋の温度が約35℃を超えると、除湿機内部の温度が上がるため、保護制御がはたらき運転できないことがあります。
- ■部屋の温度が約5℃以下の場合は、除湿した水が凍りつき霜取り運転が長くなるため、除湿量は減ってきます。

■排熱ダクトについて

- ■排熱ダクトがつぶれて正常に排熱できない場合は、冷風・除湿能力が低下したり、保護制御がはたらき風量が上がったりして運転できない場合があります。
  すみやかに、排熱ダクトのつぶれを直してください。
- ■排熱ダクトの延長をしないでください。
- ■部屋の温度が約30℃を超えると、除湿機内部の温度が上がるため、「弱」運転中に保護制御がはたらき風量が上がることがあります。



■除湿量について

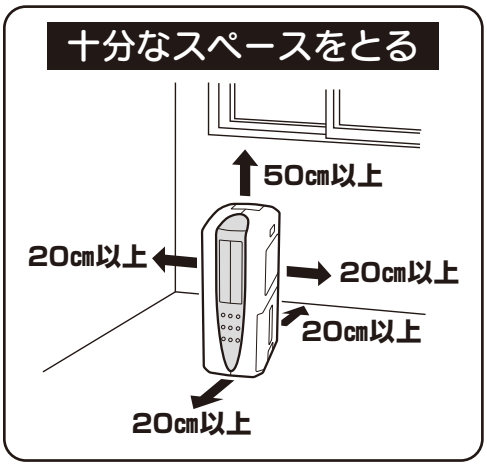
- ■温度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。
  また、同じ部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため除湿量は減ってきます。

■霜取りについて

- ■部屋の温度が約15℃以下になると、冷却器に霜が付くことがあります。その場合霜取り運転をおこないます。
  霜取りが完了しますと運転を再開します。

■吹出口・吸込口・排熱口はふさがないでください。

- ■壁、障害物から十分スペースをとってください。
- ■吹出口・吸込口・排熱口がふさがれていますと、除湿機の保護制御がはたらき運転できないことがあります。
- ■運転中は排熱口より風が吹き出します。直接風が当たらないように、風向を調節するか、排熱ダクトを使用してください。



ご注意

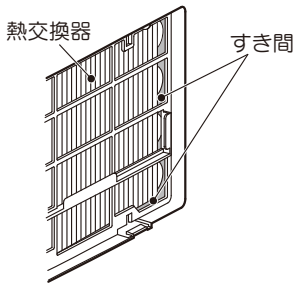
- ■テレビやラジオから1m以上はなしてください。電波障害の原因になります。
- ■除湿機は絶対に横倒しや逆さにしないでください。故障の原因になります。
- ■**3分遅延について**
  冷風・除湿運転を停止してすぐに再開したときは、機械保護のため約3分間送風運転を続けた後、自動的に冷風（除湿）運転に切り換わります。

■アルミフィンについて

- ■熱交換器に使用しているアルミフィンは、性能向上のため表面処理を実施しています。銅管の溶接の際の熱により変色やゆがんでいる部分が一部ありますが、性能および耐食性など何ら影響ありません。

■熱交換器について

- ■左側面の熱交換器は、除湿性能向上のため斜めに取り付けられ、除湿機枠との間に1㎝程度のすき間があります。熱交換器のはずれなどの異常ではありません。



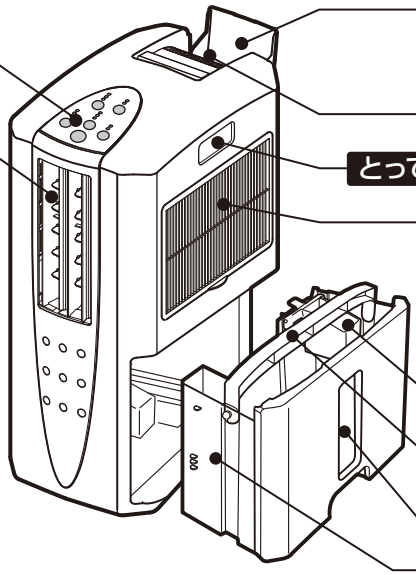
■冷媒に関するご注意



この家庭用除湿機には、CO_2（温暖化ガス）250㎏に相当するフロン類が封入されています。
地球温暖化防止のため修理・廃棄等にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。
お住まいの地域の方法に従い廃棄してください。
フロンに関するお問い合わせは、お客様ご相談窓口までお願いします。

各部のなまえとはたらき

正 面



操作部

吹出口
冷風･送風運転時に、スイングルーバーが開いて、風を吹き出します。スイングルーバーと上下ルーバーで風向を調整します。
（☞ 7～8ページ）

お買いあげ時、排水タンクに水が残っている場合がありますが、工場での除湿テストによるもので異常ではありません。

ランドリールーバー
手動で吹出方向が切りかえられます。
（☞ 8ページ）

排熱口
乾燥風（除湿時）また排熱風（冷風時）を吹き出します。

とって

エアフィルター(吸込口)
吸い込まれる空気中のほこりやゴミを取り除きます。室内の湿った空気を吸い込みます。
付属品の除菌・脱臭シートを1枚取り付けてください。（☞ 5・12ページ）

付属品
（1枚）
除菌・脱臭シート

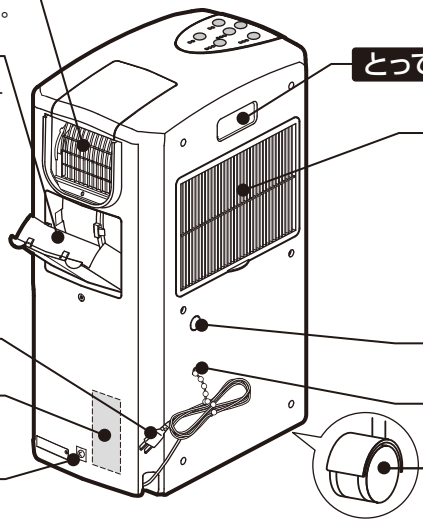
フロート

ハンドル

排水タンク水量確認窓

排水タンク
除湿した水をためます。満水になると自動的に運転が止まります。（☞ 10ページ）

背 面



排熱口
運転時には風が吹き出します。

ダクトポケット
付属品の排熱ダクトとダクトアダプターを収納できます。（☞ 9ページ）

付属品
排熱ダクト　ダクトアダプター

電源プラグ

型式・製造年
銘板に表示されています。

アースねじ

とって

エアフィルター(吸込口)
吸い込まれる空気中のほこりやゴミを取り除きます。室内の湿った空気を吸い込みます。
付属品の除菌・脱臭シートを1枚取り付けてください。（☞ 5・12ページ）

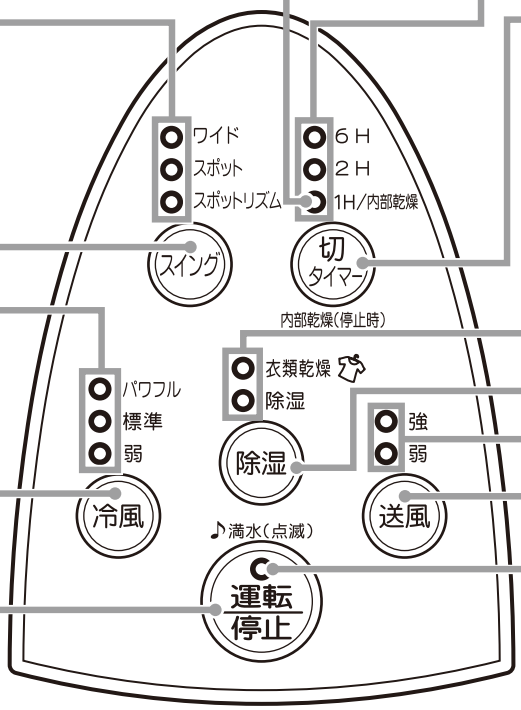
付属品
（1枚）
除菌・脱臭シート

連続排水穴

コード掛け穴

キャスター（☞ 11ページ）

操作部



内部乾燥ランプ

切タイマー切換ランプ

スイング切換ランプ

切タイマーボタン
・運転中に押すと切タイマー運転の切換えをおこないます。（☞ 7ページ）
・停止中に押すと内部乾燥運転を開始します。（☞ 7ページ）

スイングボタン
スポット、ワイド、※スポットリズムの切換えをおこないます。
※スポットリズム：
スポットスイングをしながらのリズム風運転（☞ 7ページ）

除湿切換ランプ

除湿ボタン
除湿運転、衣類乾燥運転の切換えをおこないます。
（☞ 6ページ）

冷風切換ランプ

冷風ボタン
パワフル運転 / 標準運転 / 弱運転の切換えをおこないます。
（☞ 6ページ）

送風切換ランプ

送風ボタン
送風運転での 強、弱 の切換えをおこないます。（☞ 6ページ）

運転／停止ボタン
・停止中に押すと運転を開始します。
前回の運転モードで運転を開始しますが、電源投入後の初期状態からの運転は、冷風標準運転となります。
・運転中に押すと運転を停止します。（☞ 6ページ）

運転ランプ
運転中は点灯、停止中及び内部乾燥運転中は消灯します。
排水タンクが満水になると自動的に運転を停止し、満水メロディーが鳴り、ランプの点滅でお知らせします。

操作部の表面に保護シートを貼っていますので、取り除いてください。

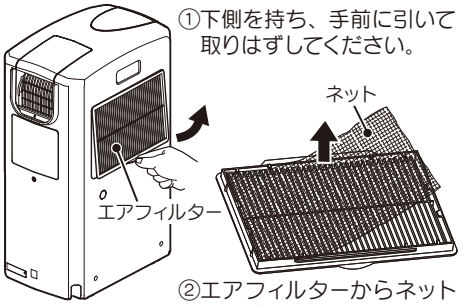
運転前の準備

排水タンクの確認

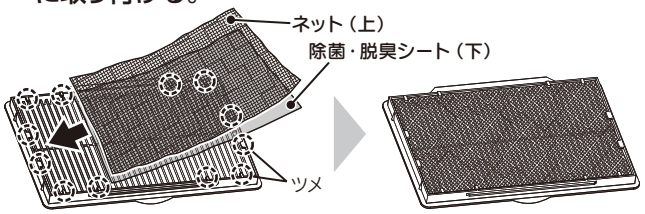
排水タンクが正しく入っていないと運転できません。
この場合満水メロディーが鳴り、運転ランプが点滅してお知らせしますので、排水タンクを取り出して正しく入れ直してください。

除菌・脱臭シートの取り付け

1 左右のエアフィルターを取りはずす。



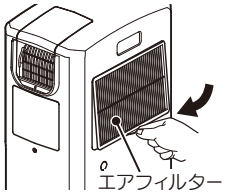
2 ポリ袋から除菌・脱臭シートを取り出し、ネットとかさね合わせエアフィルターのツメ（12ヵ所）の内側に取り付ける。



※除菌・脱臭シートの表裏の区別、取り付けるエアフィルターの左右の区別はありません。

3 エアフィルターを取り付ける。

エアフィルター上側の突起を吸込口上側の穴に差し込んでから、下側をはめ込んでください。



お願い

■エアフィルターをはずしたまま運転しないでください。除湿機内にほこりが入り、故障の原因になります。
■タンクは正しく入れてください。正しく入っていないと、満水ランプが点滅して運転できません。

運転の種類

運転の種類		使い方	運転内容
冷　風（☞ 6ページ）	パワフル	お部屋や脱衣所、キッチンなど冷風が欲しいとき（お好みで3段階の調節ができます）	風速をあげたパワフルな冷風運転をおこないます。
	標　準		冷風運転をおこないます。
	弱		弱風での冷風運転をおこないます。
除　湿（☞ 6ページ）	衣類乾燥	衣類などを早く乾燥させたいとき	風速をあげたパワフルな除湿運転をおこないます。
	除　湿	お部屋全体や押入れ、クローゼットなどの湿気をとりたいとき	除湿運転をおこないます。
送　風（☞ 6ページ）	強	扇風機やサーキュレーターなどのかわりとして使いたいとき（2段階の調節ができます、除湿はしません）	強風で送風運転をおこないます。
	弱		弱風で送風運転をおこないます。
スイング（☞ 7ページ）	ワイド	左右の風の届く範囲を選びたいとき（2段階の調節ができます）	約80˚の広角範囲でスイングルーバーが自動で動きます。
	スポット		約40˚の範囲でスイングルーバーが自動で動きます。
	スポットリズム	ゆらぎ感のある自然な風にしたいとき	スポットスイング運転をおこないながら、自動的に風量が変化し、自然に近い風で運転をおこないます。
タイマー（☞ 7ページ）	1H	消し忘れ防止など、セットした時間後に運転を停止させたいとき	1時間運転したあと、自動的に運転を停止します。
	2H		2時間運転したあと、自動的に運転を停止します。
	6H		6時間運転したあと、自動的に運転を停止します。
内部乾燥（☞ 7ページ）		運転後や長期間使用しないときなど、除湿機内部を乾燥させ清潔に保ちたいとき	約1時間運転したあと、自動的に運転を停止します。

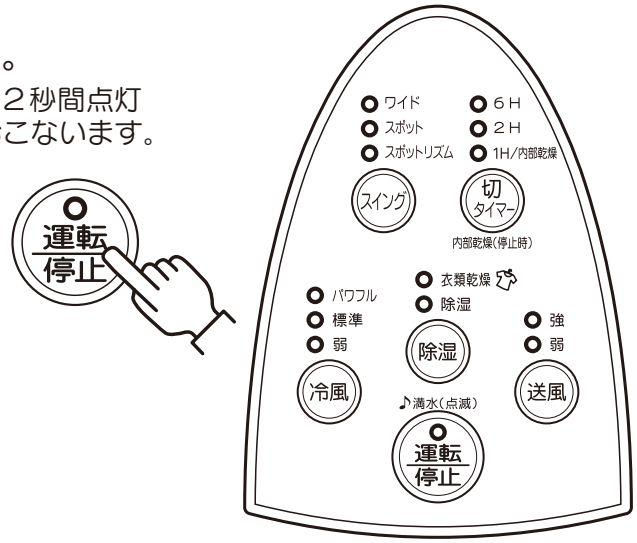
運転のしかた

⚠警告 **ぬれた手でボタンやルーバーなどの操作をしないでください。**
感電の原因になります。

排水タンクが正しく入っているかを確かめてから、運転操作をしてください。(☞ 排水タンクの確認 5ページ)
排水タンクが正しく入っていないと運転しません。(その際は運転開始と同時に、満水メロディーが鳴り運転ランプが点滅してお知らせします。)

1 **電源プラグをコンセント(交流100V)に差しこみます。**

■初期動作としてピッという音が鳴り、全てのランプが約２秒間点灯し、吹出口のスイングルーバーが 全開→ 全閉 動作をおこないます。



2 **運転／停止ボタンを押します。**

■運転を開始します。(運転ランプが点灯します。)

お知らせ
■電源投入後の初期状態から運転を開始した場合は、冷風標準運転となります。一度運転するとその運転内容を記憶し、次回からは停止前と同じ運転をおこないます。

■再度、運転／停止ボタンを押すと運転を停止します。
(すべてのランプが消灯します。)

3 **お好みの運転の種類に切りかえます。**

冷風運転

冷風ボタンを押します。



■スイングルーバーが開いて、吹出口より冷風を吹き出します。
■冷風ボタンを1回押すごとに 標準 →パワフル→ 弱 の順に切りかわりますので、ランプを確認のうえお好みの運転を選んでください。
■冷風は正面の吹出口より出ますので、お好みで吹き出し方向を調節してご使用ください。
(☞ 7～8ページ)

お知らせ
■冷風運転をするときは、できるだけ窓を開けてご使用ください。
エアコンではありませんので、お部屋全体を冷やすことはできません。
■お部屋を閉めきったままですと、排熱口より温風が出るため室温が上昇しますが、付属の排熱ダクトを使用することにより、室温の上昇をおさえることができます。
(☞ 排熱ダクトの使いかた 9ページ)
■吹出口周辺が結露することがありますが、故障ではありません。

除湿運転

除湿ボタンを押します。



■排熱口より乾燥した風を吹き出します。
■除湿ボタンを１回押すごとに 除湿 ↔ 衣類乾燥 に切りかわりますので、ランプを確認のうえお好みの運転を選んでください。
■用途に合わせてランドリールーバーの向きをかえてご使用ください。(☞ 8ページ)
※付属の排熱ダクトを取り付けてスポット的に乾燥することもできます。(☞ 9ページ)

お知らせ
■除湿運転時はスイングルーバーは閉じた状態になります。
■スイングルーバーのすき間から冷風が若干出ますが、故障ではありません。
■除湿運転をするときは、お部屋を閉めきった状態でお使いください。
■排熱口から温風が出るため、室温が上昇します。
■スイングボタンの操作はできません。
■吹出口周辺が結露することがありますが、故障ではありません。

送風運転

送風ボタンを押します。



■スイングルーバーが開いて、吹出口より風を吹き出します。
■送風ボタンを１回押すごとに 強 ↔ 弱 に切りかわりますので、ランプを確認のうえお好みの運転を選んでください。
■お好みで吹き出し方向を調節してください。(☞ 7～8ページ)

切タイマー運転

設定のしかた



■運転ランプが点灯し、運転中であることを確認してください。
■切タイマーボタンを押してください。
- ■タイマーの初期表示は、設定時間が **1H**(1時間後切)を表示します。
- ■タイマーランプは、切タイマーボタンを押すごとに右記のように順に切りかわり、切タイマーの設定ができます。

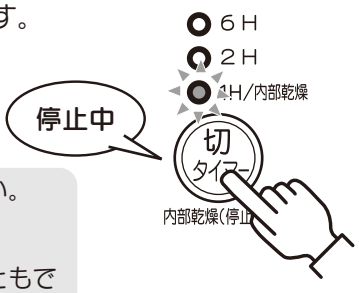
1H → 2H → 6H → 消灯(取消)

例 **6時間後に運転を停止させたいとき ---→ タイマーの設定時間を 6H に設定します。**
(ランプは**1H**、**2H**、**6H** の3つのランプが点灯)
- ■運転時間が経過して残り2時間になると **6H** のランプが消えます。(ランプ点灯は **1H**、**2H**)
- ■さらに時間が経過して残り1時間になると **2H** のランプが消えます。(ランプ点灯は **1H** のみ)
- ■設定した時間が経過すると運転を停止します。

内部乾燥運転

運転後や長期間お使いにならないときに内部乾燥運転をすると、除湿機内部を乾燥させ、いやなニオイの原因となるカビや雑菌の繁殖を抑えます。

停止中に切タイマーボタンを押すと、内部乾燥運転を開始します。



■内部乾燥運転中は、スイングルーバーは閉じた状態で内部乾燥ランプのみ点灯します。
■運転開始約1時間後に自動停止します。
(途中で運転を停止したいときは、運転／停止ボタンを押してください。)

お知らせ

- ■運転中に切タイマーボタンを押すと、切タイマー運転となるので、停止後再操作してください。
- ■スイングルーバーのすき間から風が若干出ますが、故障ではありません。
- ■除湿機内部にこもった湿気を排熱口より放出するため、室内の湿度が上がることがあります。
  ※付属の排熱ダクトを使用することにより、除湿機内部にこもった湿気を室外へ放出することもできます。(☞ 排熱ダクトの使いかた 9ページ)
- ■すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや、殺菌効果はありません。

吹出方向の切りかえ

冷風・送風運転時 (吹出口)

冷風効果をより高めるために、風向をスイングルーバー(左右ルーバー)と上下ルーバーで調節してください。

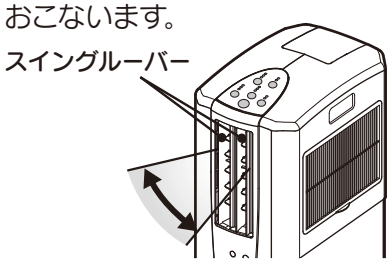
スイングルーバー(左右ルーバー)



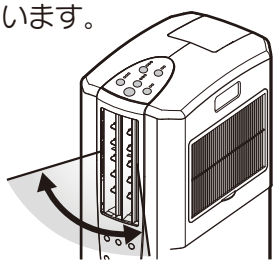
スイングボタンを押します。
■スイングボタンを1回押すごとに、スポット → ワイド → 停止 → スポットリズムの順で切りかわりますので、ランプを確認のうえスイングボタンを押してください。

お知らせ ■除湿運転時は、スイングボタンは操作できません。

■スポットスイング
約40˚の範囲でスイング運転をおこないます。



■ワイドスイング
約 80˚の広角範囲でスイング運転をおこないます。



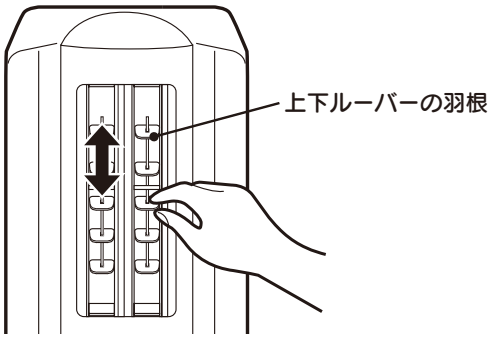
■スポットリズム
スポットスイング運転をおこないながら自然に近いリズム風運転をおこないます。

リズム風
自動的に風量が変化し、ゆらぎ感のある自然な風となります。

上下ルーバー

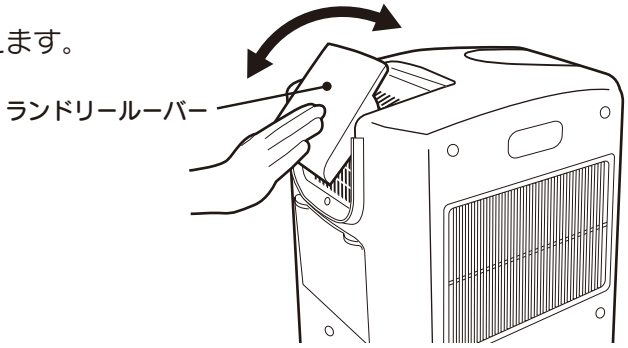
⚠注意	■スイングしているルーバーにさわらないでください。 手をはさまれるとけがの原因になります。 上下ルーバーの調節は、スイング運転を OFF にした状態でおこなってください。 ■吹出口周辺の断熱材は、はがさないでください。

上下ルーバーの羽根を持って調節します。



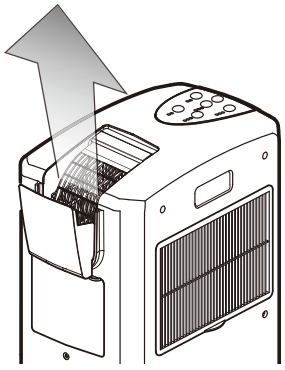
衣類乾燥・除湿運転時（排熱口）

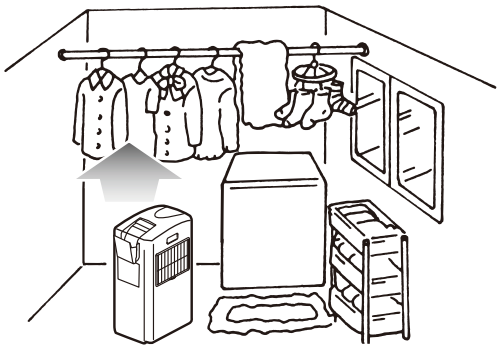
用途に合わせ、ランドリールーバーの向きをかえます。



■上吹き出し

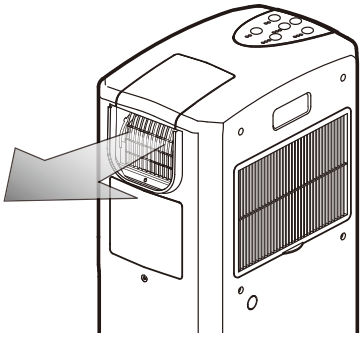
洗濯物が外に干せない梅雨どきなどに

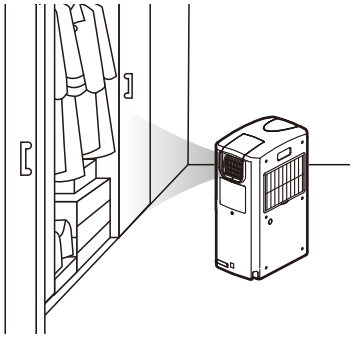


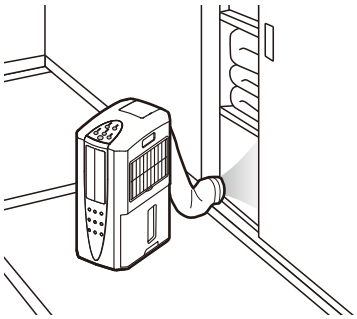


■後吹き出し

押入れ、クローゼット、シューズボックス、リビングの除湿に







お知らせ

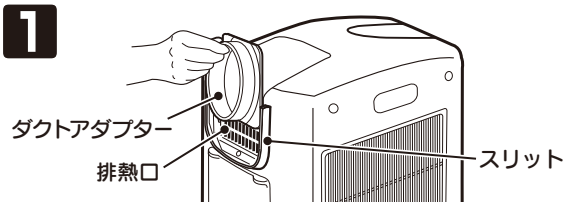
■付属の排熱ダクトを使用することで、より効果的にお使いになれます。
（☞排熱ダクトの使いかた 9ページ）

排熱ダクトの使いかた

背面から排出される温風を室外に排出するための排熱ダクトを付属していますので、冷風運転が効果的にできます。
また、押入れなどをスポット的に乾燥するときも、効果的に使うことができます。（※ダクトが折れ曲がったり、つぶれたりしたときは、冷風・除湿能力が低下したり、保護装置がはたらき風量が上がったり運転ができないことがあります。）

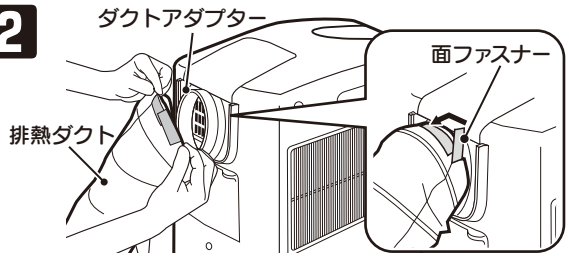
排熱ダクトの取付方法

1



ダクトアダプターを排熱口のスリットに差しこみます。

2

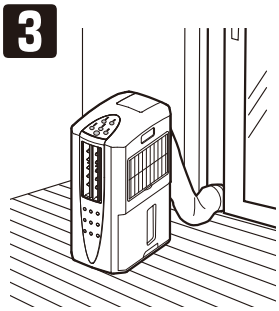


排熱ダクトをダクトアダプターに取り付け、面ファスナーでしっかり固定します。

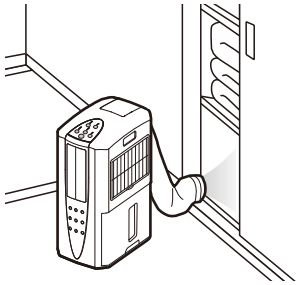
ご注意

■面ファスナーの固定がゆるいと、温風により排熱ダクトがはずれることがあります。

3



【冷風運転時】



【スポット乾燥時】

排熱ダクトをお部屋の外まで延ばし、排熱を室外に排出します。（冷風運転が効果的にできます。）

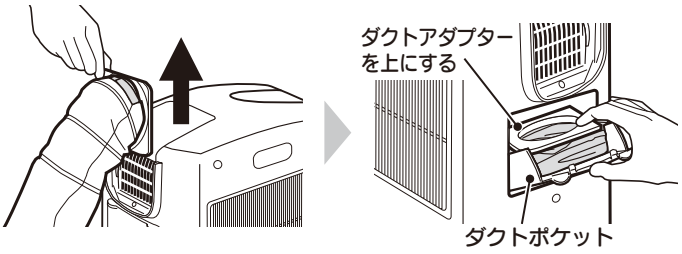
押入れなどをスポット的に乾燥したいときは、排熱ダクトを乾燥したい所まで延ばして使います。

ご注意

■冷風運転時は、エアコンのようにお部屋全体を冷やすことはできません。
■雨風が強い場合は運転を停止し、窓を閉めてください。
■お部屋全体を除湿する場合はダクトをはずし、窓を閉めて除湿運転をしてください。
■排熱ダクトを引っ張って除湿機を移動しないでください。
転倒のおそれがあります。
■排熱ダクトをお使いになるときは「パワフル」または「標準」をおすすめします。室温が約30℃を超えて「弱」で使用した場合、保護装置がはたらいて風量が上がることがあります。

排熱ダクトの収納のしかた

排熱ダクトを取りはずします。
（ダクトアダプターはつけたままでかまいません。）
ダクトポケットをあけ、排熱ダクトをたたんで収納します。



別売品ダクトパネルについて

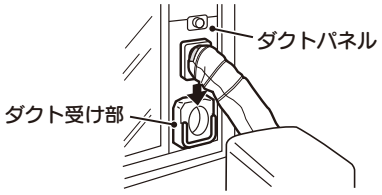
別売のダクトパネルを使用することで、より効率的な排熱処理をすることができます。
ダクトパネルは、お近くの販売店でお買い求めください。

※取り付け可能な窓高さ寸法により、次の４種類があります。（床からの窓の下端が100㎝以上の場合は取り付けできません。）

■小窓用ダクトパネル（HDP-50M）……窓高さ 72.5㎝～83.5㎝の場合（ダクトパネルのカットで 40㎝まで取り付け可能）
■標準ダクトパネル（HDP-70M）……窓高さ 82.0㎝～133 ㎝の場合
■長窓用ダクトパネル（HDP-100M）……窓高さ 133 ㎝～162 ㎝の場合
■テラス窓用ダクトパネル（HDP-180M）…窓高さ 162 ㎝～200㎝の場合

ダクトパネルの使いかた （ダクトパネル取扱説明書参照）

■ダクトパネルを窓へ取り付けます。
■排熱ダクトをダクトパネルのダクト受け部へ差しこみ、排熱します。
■ダクトパネル使用時は、パネル後面の窓を開けてお使いください。



満水のお知らせとタンクの水のすてかた

満水のお知らせ

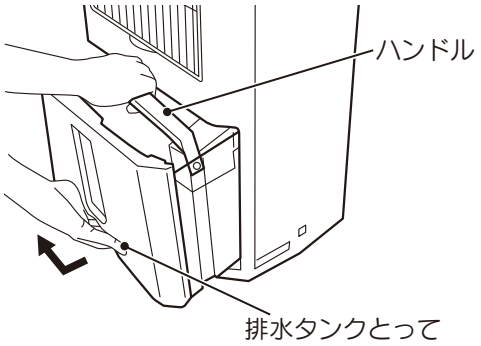
排水タンクに約5.8Lの水がたまりますと自動的に運転を停止し、満水メロディーが鳴り運転ランプが点滅してお知らせしますので、排水タンクの水をすててください。

排水タンクの水のすてかた

1 **排水タンクを取り出します。**

■排水タンクをハンドルが見える所までゆっくりと少し引き出し、とってを上に持ち上げながら両手でゆっくりと取り出してください。

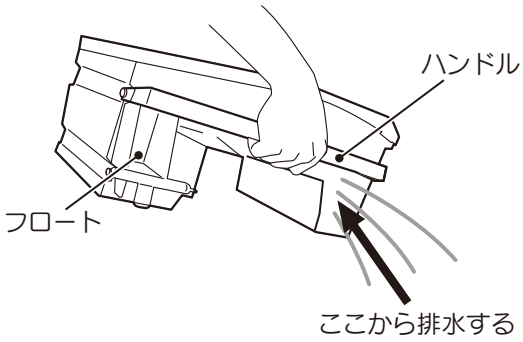
■運転停止直後に排水タンクを取り出すと、残っている除湿水が除湿機内部に滴下することがありますので、30分以上してから取り出すことをおすすめします。
滴下した場合は布などでふきとってください。



2 **水をすてます。**

■排水タンクのハンドルを持って静かに運び、水をすててください。内部をよくすすぎ、外側の水をふき取ります。

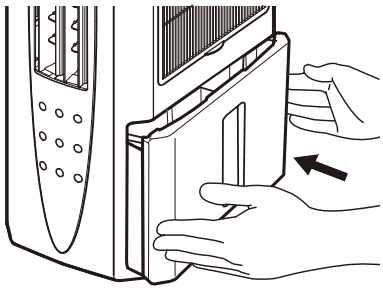
■フロートの中に水が残っていると、満水時の自動停止装置が正常にはたらかないので、完全に水をふき取ってください。



3 **排水タンクを戻します。**

■必ずハンドルをねかせ、静かに奥まで確実に押し込んでください。水をすてる前の状態で自動的に運転を始めます。

■排水タンクが正しく入っていないと、運転できません。



ご注意

■排水タンクを取り出した後、内部の部品に触れないでください。
■排水タンクを必ず正しく入れてください。正しく入っていないと満水メロディーが鳴り、運転ランプが点滅して運転できません。
■フロートの中に水や物を入れて運転しないでください。満水時の自動停止装置が正常にはたらきません。
■排水タンクを引き出しすぎると、排水タンクが除湿機より落下して、水がこぼれるおそれがあります。

満水メロディーを鳴らしたくない場合

運転停止中に切タイマーボタンを**3秒以上**押すと「ピー」と音が鳴り、メロディー音の鳴らない設定となります。
もとに戻したい場合は、同じ操作をもう一度おこなうか、電源プラグを一旦抜き、3秒以上たってから差しこみ直してください。



お知らせ

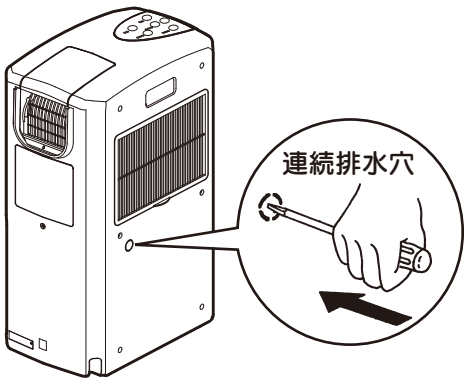
■電源プラグを一旦抜くと、メロディー音の鳴る設定に戻ります。

連続排水

近くに排水できる場所があれば連続排水ができます。
必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、排水タンクを取り出してからおこなってください。

■ご用意いただくもの
- ■ヤスリ
- ■ドライバー
- ■排水ホースとして市販品のビニールホース（内径15㎜～16㎜）



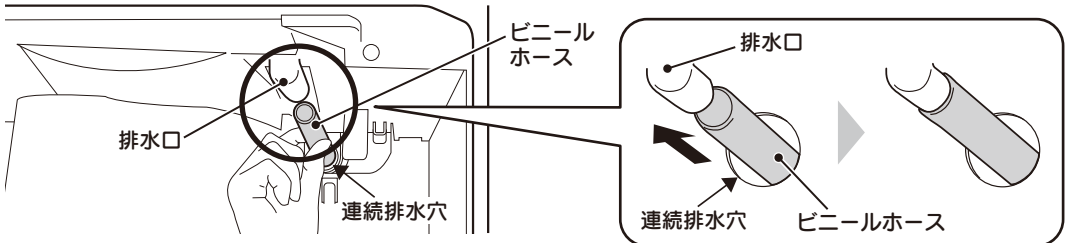


1 連続排水穴をあけます。

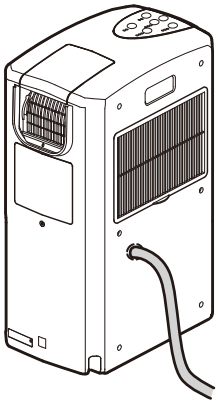
■排水タンクを取り出し、除湿機の連続排水穴をドライバーなどで押して打ち抜き、穴の端面をヤスリなどで仕上げます。

2 排水ホースを取り付けます。

■連続排水穴からホースを通し、ホースの先を排水口の奥までしっかりと差し込みます。

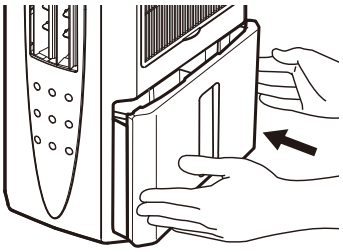


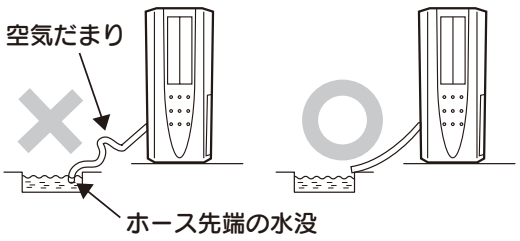
【排水タンクを取り出し本体側から見た図】



3 排水タンクを取り付けます。

■排水タンクが正しく入っていないと運転できません。





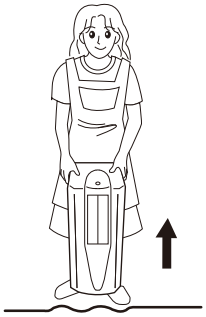
お願い

■排水ホースは排水口の根もとまで確実に差し込んでください。水もれの原因になります。
■排水ホースは、排水方向に対して必ず下り勾配で取り付け、たわんだり水がたまらない長さに調整してください。また、排水ホースの先端を水につけたり、途中で高くしたり折り曲げたりしないでください。水もれの原因になります。
■連続排水するときは、定期的に（2週間に1回）エアフィルターの目詰まりや排水ホースの詰まりがないことを点検してください。

キャスター移動

■除湿機を移動するときは、運転を停止し必ず排水タンクの水をすててください。（☞ 排水タンクの水のすてかた　10ページ）
■とってを持ち、キャスターを使って移動してください。
■部屋間の仕切りや、凹凸のある場所、階段、傷のつきやすい床などは、除湿機を持ちあげて移動してください。





ご注意

■キャスターで除湿機を移動するときに、床の材質によっては床に傷がつくおそれがあります。
傷のつきやすい床や凹凸のある場所では持ち上げて移動してください。
■除湿機を傾けてキャスター移動しますと床の表面を傷つけます。また、除湿機内部の残水がこぼれ床などをぬらすことがあります。

お手入れのしかた

⚠注意



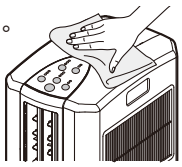
お手入れをするときは、必ず運転を停止し、電源プラグを抜いてからおこなってください。



除湿機内部の熱交換器のアルミフィンにさわらないでください。けがをするおそれがあります。

本体のお手入れ

やわらかい布でからぶきしてください。



40℃以下のお湯を使う

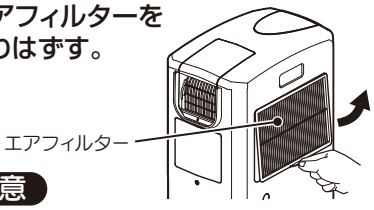
40℃以上のお湯は使わないでください。変形することがあります。
ベンジン、シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどは使用しないでください。タンクや本体を傷め変形や割れ、水もれの原因になります。



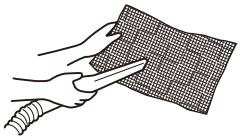
エアフィルターのお手入れ（2週間に1回程度）

2週間に1回程度はお手入れをしてください。エアフィルターにほこりがつまると風量が減少し、除湿能力が低下します。
吸込口、吹出口、排熱口を掃除するときは、ロングノズルなどでおこなってください。

1 エアフィルターを取りはずす。



2 エアフィルターからネットや除菌・脱臭シートを取りはずし、掃除機を使用するか、軽くたたいてほこりを取り除く。



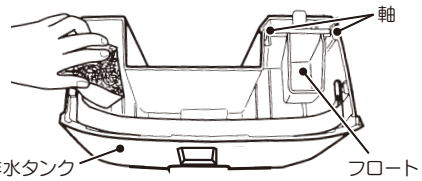
掃除機を使用する場合は、ネットや除菌・脱臭シートを吸い込まないように注意してください。

ご注意

■エアフィルターにほこりがつまると、風量が低下して保護制御がはたらき、正常に運転できなくなります。
■エアフィルターをはずしたまま運転すると内部にごみが付着し、故障の原因になります。
■掃除機を使用するときは、ブラシ付ノズルを使わないでください。破損・変形の原因になります。
■エアフィルターや除菌・脱臭シートは水洗いしないでください。破損の原因になります。

排水タンクのお手入れ

1 排水タンクとフロートを水洗いする。フロートははずさないでください。



2 洗い終わったらフロートの中の水をふき取る。

フロートの中に水が残っていると、満水時の自動停止装置が正常にはたらかないことがあります。

ご注意

■フロートの軸がはずれたまま運転しないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。
■お部屋の状況によっては、空気中の汚れが除湿水に溶け込むためタンクの内側が黒ずむことがあります。
■汚れがひどいときは、ぬるま湯でやわらかいスポンジを使って洗ってください。強くこすると傷の原因になることがあります。

長期間使わないとき

運転停止後、なるべく1日以上おいて本体内部の水が落ちきってから、以下の作業をしてください。

1 内部乾燥運転をする。（☞ 7ページ）
2 運転停止後、電源プラグを抜く。電源コードをコードバンドでまとめて、本体側面のコード掛け穴に引っ掛ける。
3 タンクの水をすてる。
4 エアフィルター、タンク、本体のお手入れをする。
5 本体やタンクに付着した水滴をふき取り、タンクを本体に戻して、本体にポリ袋などをかぶせる。
6 湿気が少なく直射日光の当たらない場所に、立てたまま保管する。

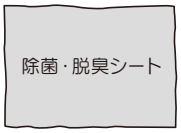
お願い

■本体は立てたまま保管してください。傾けると故障の原因になります。

別売品フィルターについて

下記の別売品を用意しております。
お近くの販売店でお買い求めください。

除菌・脱臭シート
（型式：CD-DS2…1枚入）



［材質：ポリエステル＋レーヨン］

お知らせ

■交換の目安は約1年です。
■ひどく汚れたときは交換をおすすめします。
■汚れた除菌・脱臭シートは、洗って再使用することはできません。
■一酸化炭素や有毒ガスを除去する効果はありません。

故障かな?と思ったら

修理・サービスをお申しつけになる前につぎの点をお調べください。

	症　状	原 因 ・ 処 置 方 法
故障ではありません	運転しているが冷風が出ない	■運転停止後約３分間は保護装置がはたらいているため送風のみとなります。 ■室温が約15℃以下の場合、内部の熱交換器に霜がつくことがあり、このようなときは霜取り運転をおこない送風となります。霜取りが終了すると運転を再開します。 ■送風運転になっていませんか。　■排熱ダクトがつぶれていませんか。 ■室温が高すぎませんか。(使用温度範囲約 5℃～約 35℃)
	上面があたたかくなる	■排熱のためあたたかくなりますが、異常ではありません。
	排水タンクに露がつく	■除湿水が冷たいため湿度が高いときは、露がつくことがあります。
	運転中や停止直後に"シュル""シュル"と音がする	■内部の冷媒が流れる音です。異常ではありません。
	風量が運転中に上昇する	■室温が約30℃以上のときは、保護装置が作動し、風量が自動的に上昇するときがあります。 ■排熱ダクトがつぶれていませんか。　■スポットリズム運転になっていませんか。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。
	吹出口周辺に露がつく	■冷風運転時に湿度が高いと、冷風により露がつくことがあります。 ■除湿運転時に湿度が高いと、空気を除湿するときに発生する冷風がスイングルーバーのすき間よりわずかに出るため、露がつくことがあります。
もう一度お調べください	運転しない	■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。　■停電ではありませんか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。　■排水タンクが正しく入っていますか。 ■排水タンクが満水になっていませんか。
	冷風・除湿能力が低下した	■エアフィルターが目詰まりしていませんか。　■部屋の温度、湿度が低くありませんか。 ■吸込口・吹出口・排熱口がふさがれていませんか。　■排熱ダクトがつぶれていませんか。
	なかなか湿度が下がらない	■石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありませんか。 ■ドア、窓の開閉が多くありませんか。　■送風運転になっていませんか。 ■部屋が広すぎませんか。　■排熱ダクトがつぶれていませんか。
	音がうるさい	■不安定な場所で使っていませんか。　■排熱ダクトがつぶれていませんか。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。　■コンセントの電圧は100Vですか。
	洗濯物がなかなか乾かない	■洗濯物に吹出風があたっていますか。　■洗濯物の量が多くありませんか。 ■広い部屋で乾燥していませんか。　■室温が低くありませんか。

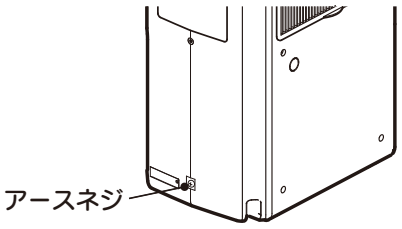
つぎの症状のときは、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。

■ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき　■誤って異物や水を入れてしまった、除湿機を倒してしまったとき
■電源プラグや電源コードの被覆が破れているとき　■電源プラグや電源コードが異常に熱いとき　■その他、異常のあるとき
■スイッチの作動が不確実なとき　■使用中に異常音がするとき

アースについて

水蒸気が充満する所や水気の多い所で使用する場合は、万一漏電したときにおこる感電を防止するために、除湿機背面のアースネジにアース線を接続してください。

⚠注意　**不完全な場合は、感電の原因になることがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。**



保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書

■保証書は裏表紙に印刷されています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
■保証期間はお買いあげいただいた日から１年間です。
(ただし、冷媒回路の保証期間は３年間です。)

保証期間中は

■修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後は

■お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

■除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後８年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理を依頼されるときは

■「知っておいていただきたいこと」(☞ 3ページ)「故障かな？と思ったら」(☞ 13ページ) を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。
ご連絡いただきたい内容は次の通りです。

- 品名：除湿機
- 型式 (本体銘板（☞4ページ）または保証書をごらんください。)
- お買いあげ日（裏表紙の保証書をごらんください。）
- 故障内容 (できるだけ具体的に。本体表示部のランプが点滅しているときは、その内容も確認してください。)
- ご住所・お名前・電話番号
- 訪問ご希望日

■この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください。
電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号　365日24時間受付）

TEL　フリーダイヤル　**0120-919-302**

携帯電話　ナビダイヤル　**0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理・アフターサービスに関するお問い合わせ

https://www.corona.co.jp/support/service/

■365日24時間修理依頼ができます。
部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。

公式オンラインストア
CORONA STORE

https://ec.coronaweb.com/
（コロナ公式ホームページからもアクセスできます ）

926040R

点検整備のおすすめ

除湿機を数シーズンお使いになりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。
点検整備は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

愛情点検	長年ご使用の冷風・衣類乾燥除湿機の点検をぜひ！ ●冷風・衣類乾燥除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。			
	このような症状はありませんか	■運転/停止ボタンを押しても運転しないときがある ■電源プラグや電源コード等が異常に熱くなる ■こげくさい臭いがしたり、異常な音がする ■電源コードに触れると通電しなかったりする ■ブレーカー、ヒューズがたびたび切れる ■その他の異常や故障がある	ご使用中止	故障や事故防止のため、運転/停止ボタンを押して運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。点検・修理についての詳しいことは、お買いあげの販売店にご相談ください。

コロナ 冷風・衣類乾燥除湿機保証書

型式	CDM-F1023
★お客様	お名前　　様
	ご住所　〒（　　－　　）
	電話（　　）　　－

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上（★印欄に記入のない場合は、無効となります）、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日	年　月　日	
保証期間 対象部分	本体	冷媒回路（圧縮機・蒸発器・凝縮器・冷媒配管等）
保証期間 期間（お買いあげ日より）	1年	3年

見本

★販売店	住所・店名 電話（　　）　　－

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記入がない場合は、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口（本書14ページに記載）にお問い合わせください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）取扱説明書、本体表示等によらないで使用された場合、または適切な点検・手入れを行なわなかったことにより発生した不具合
   （ハ）お買いあげ後の輸送、落下等による故障および損傷
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷
   （ホ）業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
   （ヘ）本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
   （ト）本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This guarantee is valid in Japan only.
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書14ページに記載）にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。
※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書14ページに記載）にお問い合わせください。

株式会社 コロナ
〒955－8510　新潟県三条市東新保7－7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　https://www.corona.co.jp/

134WA0850-0 1 2 3　dsp 2023